千葉市新庁舎整備基本計画（案）の骨子について

資料２－１

1　基本構想を踏まえた基本計画（案）の骨子

基　本　構　想

■　基本理念　■

1　人口構成や社会ニーズなど将来の変化に柔軟に対応できるような新庁舎整備を進めていきます。

2　政令指定都市における本庁舎として、通常業務の遂行性に優れた新庁舎整備を進めていきます。

3　非常時においても状況の変化に柔軟に対応できる、業務継続性を備えた新庁舎整備を進めていきます。

■　本庁舎のあるべき姿　■

- 将来の変化への柔軟性の確保
  - 将来の人口構成や社会ニーズの変化に対応できる庁舎
  - 長期間にわたり効率的に使い続けることができる庁舎
- 通常業務の遂行性の確保
  - 市民や事業者にとって使いやすく、利便性や機能性に優れ、環境にも配慮した庁舎
  - 優れたセキュリティを持ち、安全に業務遂行できる庁舎
- 非常時の業務継続性の確保
  - 地震をはじめ、災害に強い構造を備えた庁舎
  - 非常時の業務継続機能を備えた庁舎

基　本　計　画　（　案　）

■　新庁舎の整備の方向性　■

基本構想を踏まえた整備の方向性

- 可変性 変化への対応性
  - ・奥行の大きい開放的な基準階フロア
  - ・ユニバーサルレイアウト（什器類を固定、異動は職員が動く）の検討
- 保全性 経済性
  - ・設備機器等のメンテナンスへの配慮
  - ・ライフサイクルコスト（イニシャル・ランニングコスト）への配慮
- 利便性・機能性 環境先進性
  - ・窓口対応の多い部署の集中配置（ワンストップ）
  - ・自然エネルギーの活用
- 防犯性 安全性
  - ・来庁者と職員の明確な動線分離
  - ・フロントオフィス・バックオフィスの整理
- 構造安全性 災害安全性
  - ・免震・制振工法、非構造部材・建築設備の耐震性の検討
  - ・液状化対策（地盤改良）・高潮対策（機械室等中層階設置）の検討
- 防災拠点性 業務継続性
  - ・非常用電源の確保
  - ・給排水機能の途絶対策の検討

■　新庁舎の整備内容　■

建物等への反映

- 機能別整備方針
  - ・行政機能（執務室、会議室、書庫・倉庫など）
  - ・議会機能（議場、委員会室、傍聴席など）
- 新庁舎の規模
  - ・新庁舎の規模の検討
- 新庁舎のモデルプラン
  - ・新庁舎のモデルプランの検討
- 概算費用の算出
  - ・新庁舎の概算費用の算出
- 整備スケジュール
  - ・整備手法・内容の決定手続・整備スケジュール
- 新庁舎整備に併せて検討する事項
  - ・余剰敷地の活用方法等の検討

2　新庁舎の整備内容の考え方

- 新庁舎には、現本庁舎及び中央ＣＣ、ＰＳＴに分散している本庁機能（組織）の執務室・会議室等を集約
- 中央ＣＣの市役所前市民センターは新庁舎へ集約
- 本庁舎への設置が検討されている危機管理センターは新庁舎への集約を想定するが、最終的には、平成26年度策定予定の危機管理センター基本構想の内容を踏まえて、新庁舎への集約を検討
- 新庁舎の規模は、現有面積、国交省基準、総務省起債基準等により算定された面積を基礎に検討
- 新庁舎の建設は、現庁舎を活用しながら 建替えることを基本